

# ぜん 全

# しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信  
2026.7.22

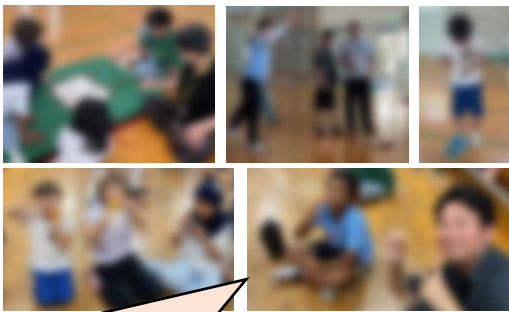
## はたの多文化お楽しみ会

終業式の放課後、恒例となった「はたの多文化お楽しみ会」がありました。秦野小学校には外国にルーツのある児童が年々増えてきています。日本語の理解や文化の違いなど、私たちが想像するよりずっと生活の中で困り感を感じながらも日々生懸命学校生活を送っているのだと思います。ルーツのある子たちとその家族、教職員が少しでもいっしょに楽しい時間を共有することで、お互いのことを知り、つながりがうまれる会となりました。そんなすてきなお楽しみ会のようすを共有いたします。



まずはみんなで自己紹介。お互いのルーツや好きなことを知り合いました。先生の子どもたちへの声のかけ方がすてきて、「はっきり」「さいごまで」「みじかく」体で表現しながら伝えていました!

次に、4年生の児童がルーツのある国についてクイズを出してくれました。最後のふりかえりでは、「次は、みんながそれぞれルーツのある国についてクイズをつくろう」ということになりました。お互いのことを知る楽しさやよさを感じ、「次は...」という気持ちが自然と生まれるあたたかい雰囲気でした。



### ☆日本語指導の先生より

今回も、外国にルーツのあるたくさんの子どもたちとおうちの方、先生方が集まって、とても楽しいひとときを過ごすことができました。

この活動を通して、出会うこと、知り合うこと、一緒に遊んだり味わったりして豊かな時間を共に過ごすこと...その一つひとつがあたたかい「つながり」をはぐくむということ、改めて感じました。

顔が見える、そのあたたかいつながりこそが、多様な背景を持つすべての子どもたちの安心につながるのではないかと思います。

一人ひとりの子どもたちが孤立することなく、自分らしく育っていけるように、私たち大人もあたたかくつながっていきたくて心から願います。

「せんせい、つぎの おたのしみかいは なにをしますか?」 さあ、次回にむけて、わくわくです。

後半は、体育館で韓国や中国などの遊びを行いました。日本にも伝統的な遊びがありますが、他の国にももちろんあります。遊びから様々な国の文化に触れる楽しさをみんなで感じられた時間でした。

最後は、インドネシアのゼリーとビスケットをみんなで食べました。短い時間でしたが**お互いのことを知りながら楽しく同じ時間を共有する大切さ**を学びました。クラスでも同じような取り組みができる子どもたちどうしのつながりになると感じました。